

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和元年度)

2. 分野別状況 (2) 地域活性化総合特区 ③アジア拠点化・国際物流分野 (4/4)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
未来創造「新・ものづくり」特区 (静岡県浜松市)	3.9	4.3 進捗度 ・産地力の強化 153% ・企業立地による地域産業の振興及び雇用の拡大 65%	3.3 規制の特例等 ・市街化調整区域への企業立地に係る農振法・農地法のガイドラインの弾力的運用 地域独自の取組 ・市独自の企業立地促進事業 ・耕作放棄地再生事業 ・企業立地奨励費等	4.0	<p>・企業立地による地域産業の振興について、新規立地企業の売上高は継続的に増加しており、順調に計画が進んでいる。</p> <p>・産地力の強化という点では、耕作面積の大幅な増加は、6次産業化推進事業や耕作放棄地再生といった、以前からの特区の取組が成果を収めている所で高く評価できる。一方、農畜産物販売額の減少に関して気候・災害等による販売額の変動は当然あるとして、短期的なものか、原因が他にある可能性はないかを探る必要がある。</p> <p>・今後どのようにして目標達成に向け販売力の強化を図っていくのか、具体的に検討する必要あり。業種や分野別の増減の検証や、大都市近郊の利点を生かした農業観光や市内外食・観光業への展開、ブランド農産品加工商品等、他方面への拡大も今後の課題。6次産業化の成果が見える指標があればより具体的な方針の参考になるのではないかと。</p>